

安全保障理事会議長声明

「アフガニスタン情勢」と名付けられた議題に関する安保理の審議に関連して、2009年10月29日に開催された安全保障理事会第6211回会合において、安全保障理事会議長は、安保理を代表して以下の声明を發した。

安全保障理事会は、2009年10月28日のカブールにおけるテロリストの攻撃に安保理の強い非難を表明し、また、事務総長および犠牲者の家族に安保理の弔慰を表す。

安全保障理事会は、この攻撃に責任を有するとされ同国の安定を乱そうとし続けているタリバンを最も強い言い方で非難する。

安全保障理事会は、事務総長、事務総長特別代表および困難だが重要な任務を遂行している全ての国際連合要員に対し安保理の強い支援を表明し、現地の国際連合職員との結束を更に表明し、悲劇的な出来事に躊躇させられることなくアフガニスタンにおける国連の任務に従事する国際連合の決意を賞賛する。

安全保障理事会は、国際連合職員の安全を確保する必要性およびこの目的のための安保理の支援を強調する。安全保障理事会は、これに関連して事務総長により既に講じられた措置に対する支援を表明し彼による更なる詳細な提案を期待する。

安全保障理事会は、アフガニスタン人民との安保理の結束および国際連合の継続的支援の下で計画されたように実行されるべき来るべき大統領の決選投票に対する安保理の支援を表明する。

安全保障理事会は、平和、民主政治および再建に向けた道程においてアフガニスタンを支援する安保理の公約を繰り返す。